

# 北陸新幹線 敦賀駅



外観

「北陸新幹線 敦賀駅」は、2024（令和6）年3月に開業。白とディープブルーを基調にした駅舎の高さは、国内の整備新幹線中、最大規模で12階建てのビルに相当する約37mとなっている。



新幹線ホーム

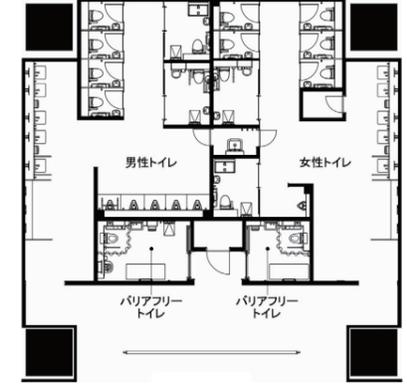
駅舎全体のデザインは港町のアイデンティティをモチーフにしてまとめられており、1Fが特急ホーム、2Fが乗り換えコンコース、3Fが新幹線ホームという構成。ガラス張りの新幹線ホームの中ほどからは敦賀湾が望める。



トイレ入口

船のキールをイメージした全長200mのコンコース両端に、アイストップとなる透かし積みレンガの間仕切り壁を設け、その奥にそれぞれトイレを設置。プライバシーに配慮しつつ、ほどよく気配を感じられる設計とした。

トイレ図面



水まわりの特長

## 建物の特徴

「北陸新幹線 敦賀駅」は、2024（令和6）年3月に開業した北陸新幹線（金沢・敦賀間）で新たに整備された駅舎であり、1Fが特急ホーム、2Fが乗り換えコンコース、3Fが新幹線ホームという構成である。高さは約37mと国内の整備新幹線中、最大規模であり、日本一の高さを誇る。巨大になった理由は、駅近くでJR北陸線の上を国道8号のバイパスが交差し、新幹線はその上を通す必要があることから線路は高架となり、その高さから新幹線が地面近くまで急こう配するのは困難なためである。また、北陸新幹線は将来、新大阪まで延伸される計画があるが、当面は当駅が終着駅となり、乗務員や清掃員のためのエリアなども従来より広い面積が必要となったことから、駅舎の幅も長大となった。

## トイレの特長

トイレは、白とブルーを基調とした内装。「機能分散」「設備の男女差をなくす」「インバウンド対応」の3点を特徴とし、機能分散としては、車いす使用者やオストメイト対応の機能をバリアフリートイレだけに集約するのではなく、男女トイレ内にも手すりや汚物流しなどを備えた広めのブースを設けることで、バリアフリートイレの集中利用を避け、自由に選んで気がねなく使用できるように配慮。また、設備の男女差をなくすこととしては、パウダーコーナーや、ベビーチェア、フィッティングボード、擬音装置の「音姫」などの内部の設備を女性トイレだけでなく男性トイレにも完備。さらに、インバウンド対応として5言語（日本語、英語、中国語繁体字、中国語簡体字、韓国語）に対応している。

## 建築概要

名称	北陸新幹線 敦賀駅
所在地	福井県敦賀市鉄輪町1-1-24
施主	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北陸新幹線建設局
設計	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北陸新幹線建設局 ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社
施工	鹿島・竹中土木・前田産業北陸新幹線、 敦賀駅新築特定建設工事共同企業体
竣工年月	2023年12月
敷地面積	17,688.03㎡
建築面積	13,397.10㎡
延床面積	28,664.93㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地下1階、地上3階

## おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CL1  
ウォシュレットPS（擬音装置「音姫」付きエコリモン）:TCF5534AUY  
マイクロ波センサー壁掛小便器セット:XPU21系  
壁掛ハイバック洗面器:LSE135CB系/クリンドライ（ハンドドライヤー）:TYC420W  
フラットカウンター・バリアフリーイレパック:XPDA5RS\*111BWW系  
コンパクトオストメイトパック:UAS81LDB1NB/ 収納式多目的シート:EWC520ARS  
ベビーチェア:YKA15S/ フィッティングボード:YKA41R  
LED照明付鏡（化粧照明タイプ）:EL80016  
LED照明付鏡（間接照明タイプ）:EL80014



トイレ入口

入口は、大きなピクトグラムと色分けにより、男女トイレとバリアフリートイレがひと目でわかるよう配慮。さらに、各トイレの設備内容も表記している。通路は、車いす使用者でも通りやすい広い幅を確保している。



男性トイレ  
洗面・パウダーコーナー

多様な利用者が使いやすい配慮として、すべての設備を男女平等に完備することを徹底。パウダーコーナーも女性トイレと同様の広さで、顔全体に光が均一に当たるように設計された、LED照明付鏡を設置している。



男性トイレ 大便器ブース

すべての大便器ブースにベビーチェアを設置。さらに広めのブースを2ヶ所設け、一方はお子様連れに配慮してベビーシートを備え、もう一方はオストメイトに配慮して汚物流しを設置している。



女性トイレ  
洗面・パウダーコーナー

清掃性に優れた壁掛ハイバック洗面器を採用。手洗い後の床への水垂れを抑えるため、洗面器の間にクリンドライ（ハンドドライヤー）を設置している。鏡は隣人の映り込みに配慮し、個別鏡となっている。



女性トイレ  
大便器ブース

トイレ内の機能説明は、インバウンド対応として5言語（日本語、英語、中国語繁体字、中国語簡体字、韓国語）に対応。また、男女同設備を徹底しているが、女性トイレには幼児用小便器が設置されている。



バリアフリートイレ

使いやすさと同時に空間としての統一感あるデザインを実現した、フラットカウンター・バリアフリーイレパックを採用。プライバシーに配慮して、カーテンを設置している。